

設 立 趣 旨 書

「特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター」は、「特定非営利活動法人 市民セクターよこはま」から、分離・独立して設立する法人です。

「市民セクターよこはま」は、1999年設立、2003年特定非営利活動法人の認証を取得し、ひとりの市民が主人公として、幸せと豊かさを実感できる市民社会の実現を目指し活動を行っています。設立より13年、多岐にわたる分野の相談対応、協働の取り組みを行い、中間支援組織として役割を広げ続けています。このような組織の発展を背景に、2011年、「市民セクターよこはま」は組織体制を改めました。主として、横浜市市民活動支援センターの管理運営ほか、市民活動支援を行う事業を中心とした第1事業部、主として、福祉人材の養成や福祉サービス評価等を事業とする第2事業部の2事業部体制です。この組織変更は、両事業部共に、情報収集力を高め、必要なネットワークの強化をもたらし、組織としての専門性も高まる効果を生みました。

1999年施行された社会福祉基礎構造改革では、1) 個人の自立を基本とし、その選択を尊重した制度の確立、2) 質の高い福祉サービスの拡充、3) 地域での生活を総合的に支援するための地域福祉の充実を目標として掲げ、様々な取り組みが行われてきました。しかし、今日、福祉の現場では、多くの課題が生じています。

要因としては、サービスの拡充を目標としていたものの、少子高齢社会によりサービス需要が著しく増え対応しきれていないこと。また、地域福祉の充実については、家庭、地域社会、企業といった社会の絆が一層、脆弱化していることにあると思われれます。更に、社会福祉の実践をするうえでの、「財政難」や「人の問題」が、この行き詰まり感をより、大きくしています。

これらのことは、これまで携わってきた福祉関係事業を通して強く実感するところです。

「地域福祉の充実・発展」の必要性と困難性、双方が高まる今、新たな組織体制から1年半を経て、「市民セクターよこはま 第2事業部」が、「市民セクターよこはま」から分離・独立し、「よこはま地域福祉研究センター」を設立することを決めました。

「よこはま地域福祉研究センター」はNPO法人として、地域社会からの信頼を得、継続的な研究活動を行い、地域福祉に必要とされる取り組みを迅速かつ適切に行うことを目指します。

また、「よこはま地域福祉研究センター」は、開かれた研究センターとして、今日の地域福祉の問題を改善し、その発展を目指そうとする、一般市民、福祉事業に携わる実務者、また、福祉分野の教育や研究に携わる研究者を会員（研究会員）とし、取り組みを進めます。

これら多様な個人・組織が、語りあい、学びあうことによって、地域社会における問題の発見をし、有する知識・情報・実践力を発揮することによって、困難な、地域社会が抱える問題を解決に導いていくことができると考えています。

この実現のために、次の事業を実施します。

- 1) 調査・研究事業
- 2) 人材養成事業
- 3) ネットワーク構築事業
- 4) 福祉サービス評価事業
- 5) その他、目的の実現に必要と思われる事業

平成24年 7月 1日

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター 設立代表者 理事長 泉 一弘